

2021年度(令和3年度)
特定非営利活動法人コミュニティネットワーク高島
事業報告

2022年3月31日

高島市今津町中沼一丁目4-1
特定非営利活動法人コミュニティネットワーク高島

目次

2021 年度成果と課題

I. 理事会・総会

II. たかしま市民協働交流事業

事業の成果と課題

1. 情報発信集積事業

- (1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行
- (2) 市民活動団体情報の集積
- (3) WEB 情報発信

2. 相談支援事業

- (1) 相談件数
- (2) コピー・大判プリント等対応記録

3. 協働提案事業

4. 高島市まちづくり推進会議事業

- (1) 運営メンバー
- (2) 運営会議記録
- (3) 募集
- (4) 応募・選考
- (5) 全体会議記録
- (6) 第 3 期まちづくり推進会議提案事項の具体化

5. 地域自治課題解決支援事業

- (1) 区・自治会の機能強化のための支援
- (2) まちづくり講演会「新たなまちづくりの仕組み、自治協議会の可能性」
- (3) 地域自治協議会準備会に関して

6. 市民協働交流事業

- (1) ちょこっとバザー
- (2) 市民活動団体紹介ポスター展
- (3) 高島市おむすび会議「ネコも地域も喜ぶ、持続可能な保護ネコ活動って？」

7. 研修等参加記録

- (1) 研修参加記録
- (2) 外部委員会等参加記録

III. 生活支援コーディネーター（第 1 層／市域）

IV. たかしまの森へ行こう！～森と人がつながるプロジェクト～

V. 今津東コミュニティセンター運営

2021 年度 事業の成果と課題

<法人運営>

高島市の中学校区で、住民の自治力を高める住民自治組織の設立に向けて動き出し、年度末には5地域で自治協議会が設立した。当法人も、新たな自治組織支援のために、また多様な世代とまちづくりを進めるために、5年先、10年先の高島市と当法人のめざす姿について、理事や会員がともに話す機会を持った。一人ひとりが当法人との関わり方や期待を共有し、またこれまでの活動のふりかえりとこれからの方向について話す時間を持つことができ、長期的な方向性を確認することができた。当法人がめざす姿を見える化して、実現につながる事業へつなげていきたい。

<たかしま市民協働交流センター>

たかしま市民協働交流センターは、ウイズコロナと言われる年となり、感染症対策をしながら事業を止めずに進める工夫をしてきた。参加人数の制限や開催時期の変更、オンラインの活用などで事業を実施することができた。一方、参加人数の制限がある中で多くの市民に取り組みを知らせるためには、事業結果を情報誌やネットで配信するなどの工夫が必要である。しかし事業結果の発信は一部の事業のみであった。時間的なズレはあるが結果を整理し発信していきたい。

相談事業は、助成金やクラウドファンディングなど資金調達に関する相談が増加し、情報誌で資金調達に関する相談対応を広報してきた効果だと考える。また、さまざまな相談内容を情報発信や協働提案事業、協働交流事業のテーマにもつなげるなどの工夫をした。他の事業にもつなげることで団体の課題解決につなげることができた。継続的に運営相談に対応している団体が増えてきており、伴走しながら団体のステップアップに向け支援を続けたい。

協働提案事業は、3年間採択の無い期間が続いたが、今年度は行政提案、市民提案ともに採択団体があった。フードバンクびわ湖たかしまは、相談対応の中で団体の基盤を固める段階になり協働提案事業への応募を勧めた。一年間の協働事業によって運営の体制づくりをされた。消防本部予防課からの行政提案については、長い活動実績と経験を持つ市民団体をマッチングすることができた。常より市民団体の活動状況を把握し、団体にとってよいタイミングで協働提案につなぐことができた。感染症の影響のため計画通りに実施が進まなかった事業があり、提案団体と担当課とのコミュニケーション支援をした。協働事業においては、緊密な情報交換や意見交換の大事さを伝えていきたい。

まちづくり推進会議は第4期の一年目であった。若い世代の参加を増やすために高校生を参加対象に広げ、分かりやすい募集要項とチラシの作成など広報に力を入れた結果、10代から70代の12名の応募があった。まちづくりの現場で必要な視点や知識を得る学びの期間を経て、高島の現状を知り、関心のあるテーマについて、当会議でできることを議論するステップに入ることができた。

住民自治協議会設立準備会への対応では、各地域の準備会にオブザーバーとして参加し、地域性の違い、地域ニーズの違いなどを知る機会になった。市民に向けて準備会でどのような検討がされているのか情報開示が少ないことが気がかりであったが、まちづくり講演

会や情報誌などで、準備会の状況などを伝える機会を持ってきた。

設立された協議会には、税務、労務関係の手続きについても必要な情報提供ができた。

協働交流事業は、感染症対策のため「市民活動フェスタ」の形態を変えて市民団体同士、市民と市民団体、それぞれ相互交流の機会を工夫した。販売をとおした交流の機会づくり、活動紹介ポスター展示による団体の広報、1つの地域課題について市民や行政などの取り組みを学び、会場全体で議論し、地域課題を自分ごとにする機会を作ることができた。さらにオンラインの活用や動画での配信など、感染症対策をしながら相互交流できる新たな工夫をしていく必要がある。

<生活支コーディネーター(第1層)>

生活支援コーディネーターの活動では、コロナ対策で活動が停止しているシニアのグループ、地域サロンなどができる形で通いの場を再開されることをめざし、情報収集と提供を行った。また介護保険制度以外の市民相互の生活支援につながる事業として、事業者が「ついでですから」と行っている顧客や近隣住民へのサービスについて情報を集め始めた。まちの電器屋さんなど家に入る事業者は「ついでですから」とちょっとした生活サポートをしている実態がある。今後は、さまざまな業種の実態把握を進め、「ついでですから」のつながりで安心して暮らせる地域に向けて、どのような仕組みがあるといいのか検討したい。

<たかしまの森へ行こう！プロジェクト>

森林公園くつきの森での炭窯の復活や炭焼き技術を継承する人材育成をとおした、市内の炭焼きを持続している地域や市民団体のネットワークづくりは2019年度から3年目となった。炭焼きグループや関心を持つ市民は、体験や交流会をとおして顔のつながりができた。また、炭窯づくりでは経験のある地域の方に再建される地域の方が指導を依頼するなどの動きが見えてきた。くつきの森では今後も炭窯の再建、炭焼き体験、炭原木の森づくりなどを市民に開かれた形で継続されるとのことで、当プロジェクトとしては、今後は側面から広報などで支援していきたい。

<今津東コミュニティセンター>

指定管理を受けて2期10年目。指定管理の最終年であり、年度後半は市民協働課と公民館への引き継ぎに時間をかける年となった。市民の利用しやすい施設をめざし、施設運営をしてきたため、今後も利用しやすい柔軟な対応を依頼した。

コロナ対策のため閉館期間もあったが、緊急事態解除後は利用団体が増加し、賑わいが戻ってきた。電子掲示板の導入やロビー展示などで、ロビーを活用した市民の活動紹介、作品紹介ができた。自主事業でも社会課題に対応しや市民の交流の機会をつくることができた。一部の事業については、法人事業として継続していきたい。

I. 法人運営

(1) 会員数・会議記録

<目標>

住民の自治力を高める住民自治組織の設立に向けて動き出しており、法人として、新たな自治組織の支援のために、また多様な世代とまちづくりを進めるために、どのような力をつけて、どのような支援をしていくのか、長期目標づくりをする。

まちづくり講演会では、自治組織設立準備会の状況や住民自治組織の可能性について学ぶ機会を作る。

<成果>

長期目標づくりでは、法人の設立のあゆみを理事と会員でふりかえり、今後の方向性について話すことができた。具体的な事業に落とす作業は次年度に持ち越しとなったが、これらについて対話を重ねる大切な時間を持つことができた。

まちづくり講演会は、市民協働課と協力しながら新たな自治組織について理解を広める機会を作ることができた。

会員数

正会員 17 名、賛助会員 8 名（団体、個人）（2022 年 6 月）

第1回 4月21日（水）19:30～21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者 7 名、欠席者 2 名

議題・令和 2 年度(2020 年度)事業報告(案)

・令和 2 年度(2020 年度)決算(案)

・令和 3 年度(2021 年度)事業計画(案)

・令和 3 年度(2021 年度)予算(案)

第2回 5月20日（木）19:30～21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者 7 名、欠席者 2 名

議題・FAAVO 北びわこエリアパートナーについて

総会 6月26日（土）14:00～16:00

今津東コミュニティセンター 3階 大ホール

出席者 9 名、委任状 5 名、欠席者 3 名

賛助会員参加 1 名

議題・令和 2 年度(2020 年度)事業報告について

・令和 2 年度(2020 年度)決算報告について

報告・令和 3 年度(2021 年度)事業計画について

・令和 3 年度(2021 年度)予算について

・クラウドファンディングのエリアパートナー

・中・長期計画づくりについて

第3回 10月26日(火) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者6名、委任状1名、欠席者2名

- ・パンフレット、ロゴマークの制作について
- ・次年度の事業と予算について
- ・今年度事業の進捗について

まちづくり講演会「新たなまちづくりの仕組み、自治協議会の可能性」

7月13日(土)14:00~16:30

今津東コミュニティセンター 3階ホール

- ① 高島市「住民自治協議会」の取り組み
- ② 住民自治協議会設立準備会から報告(今津地域、朽木地域、高島地域)
- ③ 講演「なぜ住民自治協議会組織が大切なのか」

講師:中川幾郎氏(帝塚山大学名誉教授、大阪大学学士 国際公共施策)

参加者 39名

※詳細については、Ⅱ章5. 地域自治課題解決支援事業(2)まちづくり講演会を参照ください。

長期目標づくり

7月9日(金)19:00~21:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 13名

- ①ワークショップ「コミねっと高島と私の関わり、これまで、これから」
- ②高島市の住民自治協準備会の進捗と自治協議会について

(雲南市役所元政策部長の佐藤さんに、疑問点、自治協議会の可能性と限界など、なんでも聞いてみよう)

進行:山元圭太さん(合同会社喜代七 代表)

2022年2月3日(木) 19:00~21:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 13名

- ・コミねっと高島の長期計画を考えるワーク

設立から現在までを振り返りと各ステージのキーワードを共有

進行:山元圭太さん(合同会社喜代七 代表)



Ⅱ. たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

<目標>

市内の市民活動団体や地域貢献に意識の高い事業者や企業取材し、市民に向けて情報提供することにより、市民の市民活動への意識を高め、また団体や組織が紙面をとおしてつながることを目的に作成・配布する。

- ・表紙で協働提案事業 4 件を掲載し、活動への理解を広げる。
- ・伝言板は、掲載団体が固定化しないよう多様な団体の掲載をめざす。

<成果>

当初の計画通り年 4 回発行し、配布できた。

表紙で掲載した協働提案事業では、食品ロス削減プロジェクトは情報誌掲載をきっかけに企業からの問い合わせが増えたと提案団体から連絡をいただくことができた。活動団体紹介で掲載した団体には、協働交流事業の市民団体紹介ポスター展やバザーへの参加を促すなど、他の事業にもつなげることができた。

企業紹介では、コミュニティビジネスを始められ広報について相談に来られた事業者、生活支援体制整備事業につながる事業展開をされる事業者などを紹介することができた。

伝言板は、27 団体、延べ 37 件の情報を掲載することができた。掲載団体数は昨年比 150%となり、多様な市民団体のイベント情報や会員・ボランティア募集などの情報を発信することができた。

配布先については、新たに市内の協力店等 3 か所を増やすことができた。引き続き配置場所の拡大を図りたい。

① 発行・配布実績

発行部数：各回とも 18,000 部

配布先：市内全戸、市内公共施設、市内金融機関（銀行、JA、郵便局）、市内小中学校、市内観光施設、JR 駅構内観光案内所、市内設置協力施設および企業・店舗、滋賀県内各市民活動支援センター等

② 紙面構成

○本誌（A4 仕上げ 4 ページ）

1 ページ(表紙) 協働提案事業紹介

2 ページ 「はっけん！きらっと市民活動 in たかしま」 市民活動団体の紹介 2 団体

3 ページ 「高島の元気企業」地域貢献に意識の高い事業者取材し、経営理念や地域への想いを伝える

「市民活動質問箱」市民活動に関する疑問・質問に関する情報提供など

4 ページ(裏表紙) 当センター事業告知、広告

○市内団体告知「おむすび・たかしま伝言板」（A4 両面 2 ページ）

市民活動団体、ボランティアグループ等のメンバー募集やイベント案内を掲載。

◆51号 7月1日発行

1. 表紙：高島市協働提案事業「食品ロス削減プロジェクト」
フードバンクびわ湖たかしま・環境政策課
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
・まんまカフェ ・NPO 法人 和・のどか
3. 質問箱：市民協働交流センターでクラウドファンディングのご相談ができます！
4. 高島の元気企業：ジビエレザーisato
5. インフォメーション
・シニアのためのスマホ相談会
・鮎ずし漬け体験会
・まちづくり講演会「新たなまちづくりの仕組み 自治協議会の可能性」
・今津東コミュニティセンター 1階展示案内
6. 広告<2件>：たいさんじ風花の丘、近江今津駅前メンタルクリニック
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計8件
①湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部②NPO 法人絵本による街づくりの会③断捨離バザーの会④巨木と水源の郷をまもる会⑤まるくもくらぶ⑥ヤングケアラーばんそう者の会⑦高島市の図書館を考える会⑧たかしま森林セラピー

◆52号 10月1日発行

1. 表紙：高島市協働提案事業「保育園における防災・避難訓練時の園児への防災教育サポート活動」
たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」、消防本部予防課
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
・NPO 法人 元気な仲間 ・高島市の図書館を考える会
3. 質問箱：市民活動グループを作るときにまず必要なこと
4. 高島の元気企業：白湖（はこ）
5. インフォメーション
・今津東コミュニティセンター 1階展示案内
・シニアのための初めてのスマホ講座
・文化と世代をつなぐ「聞き書きのススメ」(全2回)
・たかしま市民活動フェスタ 2021 実行委員会案内
6. 広告<1件>：びわ湖ブルワリー
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計11件
①たかしま森林セラピー②KOSEI 輝く芸術祭実行委員会③湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部④高島市の図書館を考える会⑤たかしま結びと育ちの応援団⑥高島市働く女性の会⑦手ではなそう⑧新旭美術クラブ⑨EA 滋賀リバティグループ⑩断捨離バザーの会⑪らくらくピアノサークル

◆53号 2022年1月1日発行

1. 表紙：協働提案事業「顔見知りの仲間が集う居場所づくり事業」
2. 市内活動団体紹介<1団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
 - ・BIWAKO おそうじ隊
 - ・「たかしまの森へ行こう！プロジェクト」報告掲載
3. 質問箱：住民自治協議会について教えてください
4. 高島の元気企業：みなくちファーム
5. インフォメーション
 - ・シニアのための簡単スマホ相談会
 - ・今津東コミュニティセンター 1階展示案内
 - ・高島市国際協会・今津東コミセン共催
ベトナム人とテト料理（ベトナムのおせち料理）をつくろう！
 - ・高島市おむすび会議 “ネコも地域も喜ぶ持続可能な保護ネコ活動って？”
6. 広告<1件>：喫茶洋菓子 TIMEFORTEA
7. おむすび・たかしま伝言板（別紙） 市民活動情報 計8件
 - ①縁結びグループ結人②たかしまおもちゃ病院③まんかカフェ④高島市保護者有志の会⑤高島市の図書館を考える会⑥心屋オープンカウンセリング⑦高島市青年団⑧湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

◆54号 4月1日発行

1. 表紙：協働提案事業『安心な移住定住への橋渡しを役を担う「関係案内所 potopoto」整備事業』
大溝の水辺景観まちづくり協議会、市民協働課定住推進室
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
 - ・NPO 法人 高島野鳥の会
 - ・たかしまおもちゃ病院
3. 質問箱：若い世代の方に参加していただくには
4. 高島の元気企業：株式会社デンキーズ
5. インフォメーション
 - ・市民協働交流センター利用案内
 - ・今津東コミュニティセンター1階展示案内
6. 広告<1件>：NPO 法人 TSC
7. おむすび・たかしま伝言板（別紙） 市民活動情報 計10件
 - ①FEC 自給圏ネットワーク②街中美化運動はなのみち③たかしまおもちゃ病院④たかしま結びと育ちの応援団⑤湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑥NPO 法人 高島倶楽部 トゥインクルスターズ⑦NPO 法人 高島野鳥の会⑧朽木 野鳥を守る会⑨心屋オープンカウンセリング⑩NPO 法人 麻生里山センター（森林公園くつきの森）

51号



52号



53号



54号



51号伝言板



52号伝言板



53号伝言板



54号伝言板



たかしま市民協働交流センターホームページ 情報誌ページ

<http://tkkc.takashima-shiga.jp/report.html>



(2) 市民活動団体情報の集積

<目標>

ホームページで市民活動団体およびボランティアグループ等をカテゴリーに分類し、各団体の連絡先や活動内容を掲載している。情報誌などで取材した団体を順次掲載。

<成果>

掲載団体は、高齢のため解散された団体が1団体あったが、全体で7団体増加した。また、グーグルマップを活用し、主な活動場所を市民活動マップとして掲載した。

カテゴリー：15 掲載団体数：106 (対前年比7団体増)

子育て支援	7	子どもの体験	10	学童保育	5
青年	2	女性支援	1	文化・歴史	23
災害	3	福祉・保健	25	ボランティア	3
環境・自然	17	移住促進	1	国際	0
まちづくり	4	地域づくり	4	政策提言	1

(3) WEB 情報発信

<目標>

ホームページでは、当センターの活動を広報するため、基本情報、利用案内、事業報告

と決算、情報誌のバックナンバーなどを掲載。市民活動団体のイベント情報、市民活動団体に向けての研修や助成金情報をタイムリーにブログに掲載し、同時にフェイスブックとツイッターで拡散。月2回のメルマガで登録者へ発信する。

- ・メルマガ登録者数を増やす
- ・助成金情報などは相談事業にも活用する

<成果>

助成金に関する相談では掲載した情報を活用できた。

ブログ掲載内容はフェイスブック、ツイッターで同時に発信し、常にリーチ数が50～100件あり、市民活動等の関心層に拡散することができた。

① ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

事業報告、利用案内、情報誌「おむすび・たかしま」バックナンバー、市内の市民活動団体一覧などを掲載した。



② ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

当センターからのお知らせ、助成金情報、市内外の市民活動団体の講座やイベント、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。

<2021年度 掲載実績>

センターからのお知らせ	23件	
助成金情報	144件	
高島市の市民活動情報	91件	
滋賀県・全国の市民活動情報	20件	
ボランティア募集情報	1件	
行政、企業からのお知らせ	23件	
たかしまの森へ行こう！関連	5件	
イベントレポート	3件	
その他(スタッフ日記)	15件	
計	325件	



③ フェイスブック：<https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>
主にブログに掲載した情報の拡散に活用するとともに、高島市内の市民団体のフェイスブックの記事のシェアを行ない、情報発信の支援を行なった。



④ ツイッター：<https://twitter.com/koryusenta>
ブログに掲載した情報の拡散に活用した。



⑤ メールマガジン

受信登録件数 171件（2021年3月末現在） ※ 対前年度5件増

発行回数 24回（月2回発行）

内 容 当センターのイベントや講座紹介、市民活動団体のイベントや講座、助成金、ボランティア募集、行政等による市民活動団体向け講座やイベント情報など、ブログ掲載記事を集約して発信した。

2. 相談支援事業

<目標>

団体の持続的な活動を支援する目的で相談対応にあたるため、以下の点に重点を置いた。資金調達に関する相談では、できるだけ助成金申請書の書き方や寄付の集め方など、相談者にスキルが残るようサポートする。団体相互の連携、公的機関とのつなぎなど相談者のネットワークを広げるよう意識する。オンラインの活用など、感染症対策しながら活動継続ができるようサポートする。

<成果>

寄付集めについて相談があり、活動の社会的な効果や長期の目標を数値も含めて分かりやすく示す資料作りを勧めたところ、デザインを工夫され、企業との関係性が広がったと報告いただいた。

設立相談では、活動内容を聞く中で環境面、福祉面など複合した課題に対応する活動であることが分かり、公的機関や市社会福祉協議会、関心のある市民と出会いの機会づくりを協働交流事業で実施することができた。

助成金申請の支援では、助成金獲得された団体が1団体。クラウドファンディングに関する支援は、次年度の実施に向けて継続的な支援が1件あった。

滋賀県温暖化防止センターからの相談では、CO2 ネットゼロ社会に関して高島市内で関連の活動をする8団体をコーディネートすることができ、市民団体、事業者、農業者など多様な参加者との意見交換会を開催できた。

総合戦略課の関係人口創出に向けた地域団体等の発掘に対応し、5団体を紹介できた。

「ふるさとづくり大賞」へ1団体、「おうみ社会貢献賞」へ1団体を推薦したが、今年度は受賞に至らなかった。市民団体の推薦は今後も継続していきたい。

団体の情報発信についてSNSの活用支援、オンライン会議支援としてZoomの使い方などに対応することができた。

(1) 相談件数 93件 (89.5時間)

	相談内容	件数	時間数
1	NPO 法人・NPO 設立	6	6.5
2	NPO 法人・NPO 解散	0	0
3	コーディネート（団体等へのマッチング・紹介）	33	38.5
4	資金（助成金・寄付）	21	20.0
5	実務（経理、税理、労務など）	5	4.5
6	協働（協働提案事業関連含む）	4	3.0
7	事業計画	1	0.5
8	情報発信	6	4.0
9	組織運営（規約、会計、会議運営など）	7	5.5
10	センターの活動について	5	3.5
11	その他	5	3.5

相談組織

	組織	のべ件数		組織	のべ件数
1	NPO 法人	2	6	社会福祉法人	3
2	任意団体	29	7	公的機関	9
3	地縁組織	9	8	教育機関	3
4	財団法人・社団法人	5	9	その他	1
5	営利事業者	13	10	個人	19

○継続相談について

① 白谷荘歴史民俗資料館(11 件)

クラウドファンディングで茅葺屋根の修理をしたいと考えておられ、クラウドファンディング実施に向けて継続的に相談対応してきた。運営サイトの決定、寄付の呼びかけ先の検討、運営サイトとのオンライン会議のサポートなどの支援をした。次年度の実施に向けて準備しておられ支援を継続したい。また、大きな資金が必要となる茅葺古民家の保全と活用について、持続的な方法を学び、知恵を出し合える機会づくりを検討したい。

② 高島市ニャンコの未来(2 件)※協働交流事業で打合せと相談対応を継続した

個人で保護猫活動、地域猫活動をしておられた 3 名が集まり、組織として継続的な活動に向けて相談に来られた。資金面で課題があり、助成金などを活用するためにも会則を作り、組織として運営されることを勧めた。寄付も集めて活動資金にされるとのことで、会則づくり、決算と情報公開について支援した。活動内容が生活環境と福祉に関わるため、環境政策課、社会福祉課、市社会福祉協議会などにも参加をよびかけ、関心ある市民とともに保護猫活動や地域猫活動に関する制度や事例の勉強とアイデアを出し合う会議を実施した。

③ 美化活動はなのみち(3 件) + 新旭養護学校への連絡対応など

代表者が 90 歳を越え、継続的な活動のための体制づくりについて継続支援をしてきた。メンバーの中で役割分担ができた。また近隣の若い世代が参加するようになり、以前より作業参加者が増えてきた。当センターの関わりは、年 2 回、新旭養護学校に連絡し、花苗をいただくための日程調整、および広報の機会づくりなどになってきた。活動を継続できる体制が安定するように支援していきたい。

④ フードバンクびわ湖たかしま(10 件)

協働提案事業への応募を進め、採択された。定期的な食品集めを実施され、企業やロータリークラブ、区・自治会などの認識と協力が広がり、「フードドライブ」という言葉が広く理解されるようになった。企業向けのチラシづくりについてのアドバイスや広報の支援をした。

運営では代表者の役割りがまだまだ大きく、役割りを分担できる体制ができるといい。今後も継続的に支援したい。

⑤ 北船木区(4 件)

女性会議について、2020 年の区長ヒアリングから継続的に相談対応している。区の役員が男性中心の地域。区運営の担い手が減る中、区長は女性にも区で力を発揮してもらいたいと考えており、女性が区の活動や運営に関わるきっかけを作りたいと相談された。女性会議の実施について、市社会福祉協議会地域福祉課の安曇川担当と連携して対応している。今年度は開催準備をしたがコロナのために 2 回延期となった。次年度の開催に向けて、継続的に支援したい。

⑥ FEC 自給圏ネットワーク(4 件)

協働提案事業で環境政策課からの行政提案に対応される活動をしておられ、協働提案への応募、事業の組み立て、予算の立て方などについて相談対応した。次年度の協働提案事業に採択され、継続的に支援していく。

(2) コピー・大判プリント等対応記録

① コピー・大判プリントの対応 151 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	9	7	14	9	9	10	16	11	12	15	18

② 機材貸出 5 件（プロジェクターの貸出 5 件、ビデオカメラの貸出 0 件）

3. 協働提案事業

<目標>

4 件の協働提案事業について、担当課と提案団体にヒアリングしながら、適切な支援を行っていく。

次年度実施の協働提案募集について、新しい団体の応募をコーディネートする。

<成果>

4 件の協働事業について、担当課と提案団体に適宜ヒアリングしながら連携状況などを確認し、支援することができた。

情報誌おむすびたかしまの表紙で 4 件の事業を紹介することができ、市民に広報することができた。特にフードバンクびわ湖たかしまは、表紙での紹介で企業への理解が広がったとのこと。1 件の事業については、コロナ感染症の影響で活動が計画通りに進まない状況があり、担当課とのミーティングをセッティングしたが、定期的な情報交換ができる関係性まではできなかった。

次年度の協働提案事業募集では、行政提案事業に関して協働の可能性のある市民活動団体につながり、申請を支援した結果、採択につながった。

(1) 協働実施支援

① 食品ロス削減プロジェクト

提案者：フードバンクびわ湖たかしま

担当課：環境政策課

11 月 15 日 中間点検、次年度活動予定についてヒアリング

※相談対応(10 件)と重なる対応は記載していない

② 顔見知りの仲間が集う居場所づくり

提案者：しずさと紡ぐ会

担当課：市民協働課

8 月 3 日 事業状況ヒアリング、活動相談

11 月 7 日 事業取材、情報誌掲載内容確認

11 月 16 日 中間点検、次年度継続相談

2 月 22 日 成果報告、次年度事業打合せ

③ 安心な移住定住の橋渡し役を担う「関係案内書 potopoto」整備事業（行政提案）

提案者：大溝の水辺景観まちづくり協議会

担当課：市民協働課 定住推進室

4 月 13 日 事業スケジュール、成果指標について打合せ

6 月 8 日 関係案内書の機能についてなど打合せ

11 月 24 日 中間点検、次年度継続相談

2 月 7 日 事業状況ヒアリング、情報誌掲載内容確認

2 月 22 日 成果報告、次年度事業打合せ

④ 保育園における防災・避難訓練時の園児への防災教育サポート活動（行政提案）

提案者：たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なます」

担当課：消防本部予防課

8 月 3 日 事業状況ヒアリング、情報誌掲載内容確認

12 月 7 日 中間点検、次年度活動予定についてヒアリング

(2) 応募説明会

市主催の応募説明会では、参加者の質問に対して事例などから説明した。
10月13日

(3) 応募相談

FEC自給圏ネットワーク、環境政策課
11月16日
しずさと紡ぐ会
大溝の水辺景観まちづくり協議会
中間点検時に次年度継続内容について相談対応した

(4) 審査会

プレゼンテーション(3団体)、担当課ヒアリング、選考会において、アドバイザーとして対応した。
12月15日(水)10:00~15:00 市役所

(5) 採択団体と担当課の詳細協議

新年度からスムーズに事業を始めることができるよう、目標、互いの役割、スケジュールなどを再度確認する機会において、ファシリテーターとして対応した。

① 小地域協働型住民支援事業

提案団体：しずさと紡ぐ会
担当課：市民協働課
2月22日

② 安心な移住定住への橋渡しを行う「関係案内書 potopoto」整備事業

提案団体：大溝の水辺景観まちづくり協議会
担当課：市民協働課
2月22日

③ 高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及(行政提案)

提案団体：FEC自給圏ネットワーク
担当課：環境政策課
2月3日
3月9日

(6) 成果報告会

事業実施4団体について、提案団体と担当者から成果報告がされ、審査委員から協働のためのポイントや次年度の展開について質疑やアドバイスがされた。当センターはファシリテーターとして対応した。

3月23日(水)10:00~12:00 市役所

4. 高島市まちづくり推進会議事業

<目標>

市民が市の現状と課題を調査や実践をとおして把握し、持続可能な将来社会に向けて、市民や行政が取り組むべきこと、市民と行政の協働で取り組めることなどについて、根拠ある提案をする目的で実施している。

第4期募集では、まちづくり人材の育成を目的に、任期2年間で何を達成ことができ、どんな活動ができるのかを募集要項に記載し、応募者が内容を理解して参加できることをめざす。高校生にも応募資格を広げ、若い世代の参加を促す。

会議は、感染症対策をしながらの開催やオンライン利用などで、会議を止めずに進め、年度内に関心のあるテーマでグループ活動の開始をめざす。

第3期で提案された、バスに関するゲームづくり、子ども連れ歓迎マークづくりを具体化するために第3期委員と一緒に検討を進める。

<成果>

第4期の募集では、チラシの配布先を公共施設だけでなくコンビニなど店舗などにも広げた。市内の高校2校にも広報を依頼した。その結果、高校生～70代の12名の応募があり、意欲的な委員を集めることができた。

第1回から第5回の全体会議は、まちづくりに必要な基礎を学ぶ期間とし、体験や対話を交えながら学び、理解を深める工夫ができた。

各自の関心あるテーマを出し合い、取り組むべき2つのテーマを決定することができた。テーマを選定し、グループ活動の期間に入ってから、月1回の全体会議でテーマ毎のグループで話し合う時間と全体共有の時間を持ちながら進めることができ、次年度の実践的な活動への準備ができた。

第3期で提案された子ども連れ歓迎マークについては、マークデザインが完成し、使用規程など普及のための準備ができた。バスに関するゲームづくりについては、メンバーの日程が合わず検討を進めることが出来なかった。

(1) 運営メンバー

事務局：たかしま市民協働交流センター、高島市市民協働課

研究者チーム

木村道徳（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員）

熊澤輝一（総合地球環境学研究所 准教授）

王 智弘（京都精華大学 特別研究員）

小野 聡（千葉商科大学商経学部 専任講師）

(2) 運営会議記録

日程	場所	内容
4月7日	Zoom	第4期の組み立て、第3期提案の具体化について

5月12日	Zoom	第1回から第5回全体会議の内容について
6月9日	Zoom	応募者について、第1回全体会議について
6月27日	市役所	第1回全体会議ふりかえり
7月1日	Zoom	第2回全体会議の内容について
7月30日	Zoom	第2回全体会議のふりかえり、第3回全体会議の内容について
8月17日	Zoom	第3回全体会議、第4回全体会議の内容について
8月26日	Zoom	第3回全体会議ふりかえり、第4回、第5回全体会議の内容について
9月5日	Zoom	第4回全体会議ふりかえり、第5回全体会議の内容について
9月16日	Zoom	第5回全体会議の内容について
9月26日	Zoom	第5回全体会議の話題提供者と打合せ
9月28日	Zoom	第5回全体会議のふりかえり
10月5日	Zoom	交流会について、第6回全体会議の内容について
10月19日	Zoom	第6回全体会議の内容について
10月28日	Zoom	グループ活動への推進本部員の関わり方について
11月5日	Zoom	テーマの決め方について
11月11日	Zoom	テーマの決め方、グループの分け方について
11月13日	市役所	テーマの決め方、グループの分け方について
12月7日	Zoom	テーマの決め方、グループの分け方について
1月6日	Zoom	テーマの確認とグループ分けについて
1月20日	Zoom	第10回全体会議の進め方について
2月22日	Zoom	第11回全体会議の進め方、各グループの内容について
3月9日	Zoom	第12回全体会議の進め方について

(3) 募集

募集期間 5月7日～6月4日

広報先 市内外施設95カ所

公共施設、郵便局、店舗(コンビニ、JA、平和堂、道の駅他)、JR6 駅、市内の高校(2校)、近隣大学(4校)など

(4) 応募・選考

応募者 12名 選考結果 12名合格

選考期間 6月7日～10日

選考者 第3期まちづくり推進会議委員長、市民生活部次長、たかしま市民協働交流センター事務局長

(5) 全体会議記録

	内 容	参加人数
第1回 6月27日	委嘱式、まちづくり推進会議について まちづくりスキル～問い、考え、話し、聞く～哲学対話	委員 12名 本部員 15名
第2回 7月10日	まちづくりスキル～市民協働の基本について～	委員 9名 本部員 17名
第3回 8月22日	まちづくりスキル～議論とは～(Zoom) 映画「12人の優しい日本人」を鑑賞して意見交換	委員 11名
第4回 9月5日	まちづくりスキル～システム思考について(Zoom)	委員 10名
第5回 9月26日	まちづくりスキル～高島市のまちづくりについて(Zoom) マキノまちづくりネットワークセンター藤原さんにお話しを聞く	委員 8名
交流会 10月16日	委員相互の交流機会を作り、話しやすい関係性を作る (wacca)	委員 6名
第6回 10月31日	まちづくり推進会議がめざすもの、可能性と課題について 私の「まちづくり推進会議」マップ	委員 10名
第7回 11月26日	取り組みたいテーマ、気になるテーマについて、互いに質問	委員 8名
第8回 12月16日	テーマの決定について	委員 7名
第9回 1月16日	テーマの決定とグループ分け(Zoom) テーマ「資源の再確認と活用」 テーマ「世代を越えた人のつながりを地域でつくる」	委員 10名
第10回 2月6日	各グループ会議と全体共有(Zoom) テーマについて考えたいこと、課題について	委員 11名 本部員 5名
第11回 3月6日	各グループ会議と全体共有(Zoom) ・高島の資源を捉える視点について ・多世代の人が参加できるイベントとは	委員 7名 本部員 2名

第1回全体会議



第2回全体会議



第6回全体会議



第7回全体会議



(6) 第3期まちづくり推進会議提案事項の具体化

①市民協働のまちづくり推進本部ワーキンググループ

6月21日 「地域とのつながりを生み出すための地域行事グループ」からの提案の経過説明

6月23日 「市内のバス交通のあり方グループ」からの提案の経過説明

9月28日 第3期まちづくり推進会議の提案に対する検討報告
第3期委員と交流センターの目標について説明

②子ども連れ歓迎マークの制作

月日	内容	参加人数
6月29日	一般社団法人あすラボとマーク制作に関する相談	2名
7月20日	マーク制作方法とスケジュールの検討	5名
8月6日	デザイナーへの制作依頼内容検討、当事者と団体ヒアリング内容の検討	6名
9月3日	当事者と団体ヒアリング結果、マーク制作費用の検討	4名
9月21日	協賛依頼文、協賛依頼先の検討	3名
10月5日	協賛依頼文の確認、デザイン依頼スケジュールの検討	5名
10月12日	協賛依頼文の確定、デザイン依頼内容の検討	3名
10月20日 ～ 11月20日	「子ども連れ歓迎マーク」制作費協力募集 協力者：48件(個人、団体) 協力金額：81,000円	

11月16日	協力者からのマークの使い方に関する意見共有 デザインへの投票ポスター検討	5名
1月5日	デザイン116点から3点に選定	4名
1月11日 ～24日	子ども連れ歓迎マークへの投票募集 投票件数：289件、コメント46件	
1月25日	投票結果とマーク決定、マーク運用ルールの検討	4名
2月8日	マーク制作費用確定、運用方法検討	4名
3月2日	マーク使用規程、使用方法、公開方法の検討	2名

③子ども連れ歓迎マーク



経費結果

マーク制作費	61,600円
投票チラシ印刷他	17,625円
投票チラシ郵送費	720円
合計	79,945円

協賛金 81,000円－経費 79,945円＝1,055円
※残金は赤い羽根募金へ寄付

④子ども連れ歓迎マークの普及

高島市結びと育ちの応援団ウェブサイトで使用規程、使用方法、マーク画像データを公開予定(2022年度6月)。マークの普及について検討を継続予定

⑤バス交通に関するゲームづくり

月日	内容	参加人数
8月6日	ゲームで何を考えることができ、表現できるか検討	4名
10月24日	さまざまなゲームを体験して検討	3名

第3期委員の日程が合わず、ゲームづくりを継続できなかった。

5. 地域自治課題解決支援事業

<目標>

区・自治会支援については、昨年度のヒアリングから継続的に支援をしている北船木区について、相談支援事業で対応を継続していく。

住民自治協議会準備会に出席し、必要な情報提供などを行い、設立に向けた支援をする。

まちづくり講演会では、市民に住民自治協議会準備会の目的や検討内容を知らせること、および新たな自治の仕組みである住民自治協議会の可能性について学ぶ機会を提供する。

<成果>

北船木区に関しては、女性会議の開催に向けて相談を継続してきた。感染症対策のため実施は次年度に延期されたが、区と相談を継続していく。

住民自治協議会設立準備会では、活動計画づくりに必要な市民団体の情報や情報発信に関する情報提供ができた。設立時の税務や労務に関する諸手続きについて情報提供ができた。

まちづくり講演会は、区・自治会と住民自治協議会の役割りや機能の違いについて理解を深めることができた。また3地域の住民自治協議会準備会から各地域の目標などが説明され、まちづくり計画の内容を伝えることができた。

(1) 区・自治会の機能強化のための支援

○北船木区

区の運営に、女性が主体的に関わるきっかけを作り支援。世代を分けて、女性の意見を聞く女性会議の開催、当日の運営について継続的に支援してきた。

※市社会福祉協議会地域福祉課安曇川担当と連携して対応

10月28日 開催目的、対象となる助成グループ、会議内容について相談

11月12日 1回目の女性会議の参加対象となる福祉推進委員長と会議の目的や内容について相談

2月14日 2月20日に開催予定での打合せだったが、感染症対策で3月20日に延期。3月開催に向けて意見交換

3月4日 感染症対策で次年度に延期とのこと。日程について相談。

※4月10日の役員会で開催日程決定予定

(2) まちづくり講演会

「新たなまちづくりの仕組み、自治協議会の可能性」

高島市が設立をめざす住民自治協議会によるまちづくりについて、市民に説明する機会を作ることができた。また、今津地域、朽木地域、高島地域の住民自治協議会準備会からまちづくりの目標を聞き、準備会で検討していることを伝えることができた。

講師の中川氏から、区・自治会と自治協議会の役割りや機能の違い、自治協議会の活動事例について講演いただき、市民の理解を深めることができた。

開催日 7月13日(土)14:00~16:30

会場 今津東コミュニティセンター 3階大ホール

講師 中川 幾郎氏(帝塚山大学名誉教授、大阪大学学士 国際公共施策)

参加者 39名

アンケート回答者 29名

参加者感想など

- ・住民自治協議会と区・自治会の役割りの違いについての話や自治協議会の可能性の広さを理解できた。
- ・住民自治協議会を運営する上で重要な視点などについて適切な指示をいただいた。
- ・各地域での取り組みの実際を知ることができた。
- ・質疑応答が活発に行われ役に立った。
- ・住民自治協議会の人材の確保や広報について、ヒントが浮かぶきっかけになった。

など



(3) 住民自治協議会準備会に関して

住民自治協議会準備会に参加し、必要な情報提供など設立に向けて支援した。

○会議等への参加記録

4月23日	第5回高島市地域住民自治協議会準備会	高島支所
5月7日	第5回安曇川地域住民自治協議会準備会	安曇川公民館
5月22日	第5回朽木地域住民自治協議会設立準備会	朽木支所
5月25日	第6回高島地域住民自治協議会設立準備会	高島支所
5月31日	第5回マキノ地域住民自治協議会設立準備会	マキノ支所
6月1日	第5回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
6月11日	第6回安曇川地域住民自治協議会設立準備会	安曇川支所
6月12日	第6回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津東コミセン
6月26日	第6回朽木地域住民自治協議会設立準備会	朽木支所
6月29日	第6回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
6月30日	第7回高島地域住民自治協議会設立準備会	高島支所
7月10日	住民自治協議会設立準備会 会長・副会長合同会議	市役所
7月11日	第7回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津東コミセン
7月12日	第6回マキノ地域住民自治協議会設立準備会	マキノ支所
7月21日	第8回高島地域住民自治協議会設立準備会	高島支所
7月27日	第7回新旭地域住民自治協議会設立準備会	wacca
8月20日	第7回安曇川地域住民自治協議会設立準備会	安曇川公民館
8月22日	第8回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津東コミセン
8月30日	第8回新旭地域住民自治協議会設立準備会のための打合せ	市役所
9月29日	第8回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
10月2日	第9回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津東コミセン
10月2日	第8回朽木地域住民自治協議会設立準備会	朽木支所

10月3日	第8回マキノ地域住民自治協議会設立準備会	マキノ土に学ぶ研修センター
11月3日	第9回朽木地域住民自治協議会設立準備会	朽木支所
11月20日	第10回今津地域住民自治協議会設立準備会	今津東コミセン
11月28日	今津地域住民自治協議会設立総会	今津東コミセン
11月28日	マキノ地域住民自治協議会設立総会	マキノ土に学ぶ研修センター
12月4日	第10回朽木地域住民自治協議会設立準備会	朽木支所
12月18日	安曇川地域住民自治協議会設立総会	安曇川公民館
1月26日	協議会設立時に必要な手続きについて情報提供	
2月2日	第12回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
2月24日	第13回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
2月27日	朽木地域住民自治協議会設立総会	朽木支所
3月2日	新旭地域住民自治協議会のSNS講座開催	今津東コミセン
3月6日	高島地域住民自治協議会設立総会	ガリバーホール
3月14日	第14回新旭地域住民自治協議会設立準備会	市役所
3月24日	労働保険、社会保険にかかる手続きについて相談会開催	今津東コミセン

○集落カルテに関する相談

6月10日 市民協働課が作成している集落カルテの現状説明および活用に関する意見交換に参加した。

6. 市民協働交流事業

<目標>

市民活動団体やボランティアグループのつながりづくり、市民と活動団体との出会いと参加のきっかけづくりを目的に、たかしま市民活動フェスタを開催してきた。感染症対策のため団体や市民が一堂に集まる機会は難しいため、小規模で、複数回のイベント等の開催により市民や団体相互の交流を図る。

実行委員会での運営により、関心のある市民とともに企画することで多様な視点とアイデアを活しながら事業を進める。

市民の活動団体への参加のきっかけづくり、団体の持続的な活動への支援として、関心のある活動について、背景や活動内容を知り、団体や関係機関と意見を交わす場を作る。

<成果>

実行委員会は、ネットとメールで関係性のある市民団体等に募集した。2、3名の方から企画についてアイデアなどを聞くことができた。感染症拡大の時期があり、広報の時期が難しく募集が遅くなったため、実行委員会として企画、実施まで関わっていただくことができなかった。

市民と活動団体、活動団体が相互に出会う機会として、活動資金集めやPRのためのバザーを開催した。団体同士の交流もでき、顔がつながる機会となった。

活動紹介パネル展では、図書館や商業施設など、市民が何気なくポスターを見ることで、市民団体を知る機会を作ることができた。また参加団体のPRポスターをデータで集めることができたため、会場や展示パネルの大きさに合わせてプリントすることができた。データによる活動紹介ポスターの作成は、今後も市民団体に声をかけて増やしていきたい。

相談対応から高島市おむすび会議を企画した。市民団体が取り組む社会課題について、行政や市内外の活動団体から学び、持続的な活動へのアイデア、自分ができることを出し合い、活動に関わるきっかけを作ることができた。

(1) ちょこっとバザー

市民と市民活動団体等が、活動支援につながる買い物をとおして交流する機会を作る。また、団体同士がお互いに顔が見える関係性を作ることを目的に実施した。

12月5日(日) 10:00~15:00

今津東コミュニティセンター 3階ホール

参加団体 7団体

美化活動はなのみち、精神保健グループO(わ)、南深清水FF倶楽部、BIWAKOおそうじ隊、家庭的保育園 Peek-a-boo、湖西高島「命の第九」を歌う会、夢カフェ・たんぼぼ

来場者 82名

参加団体アンケート

参加に関する満足度は高く、開催日程や時間帯なども概ね満足されていた。

参加団体の感想

○よかった点

- ・売上は少なかったが、多くの方に活動について質問していただき、関心を持っていただけた。
- ・他団体の手作り品も見られてよかった。輪が少し広がり、うれしい。
- ・他の団体と互いの活動の話などゆっくり出来て良かった。活動の趣旨に共感して

くださる方に数名出会い、励みになり、もっと活動を周知していかなければ、と新たな目標も出来た。

- 地域の活動を知ることができてよかった。

○改善点

- 広報がされてなかったのか、来場者が少なかった。
- 時間内は参加するべきでは(午前のみ参加団体があった)
- バザーとほかの企画とコラボすると来場者が増えるのでは。

○やってみたい企画など

- いろいろな団体の力を借りて、親子で遊べるスポットや楽しみ方のアドバイスを受けたり、団体を訪ねるスタンプラリーのようなことができるといい
- 各団体の活動内容が分かりやすく知ることができる物事。例えば団体紹介冊子作り、舞台発表
- オンラインのモニター上で、各開催地から交流できればいい。レポーターが回り、団体紹介されるなど(「お大根めっちゃ安い！私もさっき買いましたー」みたいな、ゆるいレポート)
- 野外イベントにして、できればステージイベントと共同開催する。
- 「お楽しみ抽選会」等を行い、景品は参加団体に提供してもらう。



(2) 市民活動団体紹介ポスター展

		今津図書館	新旭駅西エスパ	今津東コミセン
		3/4(金)~28(月)	3/4(金)~30(水)	3/18(金)~22(月)
1	高島のゴミ問題を考える会	掲示	掲示	掲示
2	高島野鳥の会	掲示	掲示	掲示
3	朽木 野鳥を守る会	掲示	掲示	掲示
4	高島市ニャンコの未来	掲示	掲示	掲示
5	まんまカフェ	掲示	掲示	掲示
6	街中美化運動はなのみち	掲示	掲示	掲示
7	FEC 自給圏ネットワーク	掲示	掲示	掲示
8	ヤングケアラー伴走者の会	掲示	掲示	掲示
9	たかしまおもちゃ病院	掲示	掲示	掲示
10	コミュニティねっとわーく高島	3/12 まで掲示	3/12 まで掲示	—
11	高島青年協議会	3/17 から掲示	3/17 から掲示	掲示

今津図書館



新旭駅西ショッピングセンターエスパ



(3) 高島市おむすび会議

「ネコも地域も喜ぶ、持続可能な保護ネコ活動って？」

市内で保護猫および地域猫活動を行う市民団体の設立相談から、生活環境および社会福祉の両面に関わる地域課題に対応する活動であることが分かった。地域にとって重要な活動であり、持続的な活動のために関心ある市民の参加、行政の理解、関連する組織との連携を目的に企画した。当会議で、課題の背景や参加者との意見交換ができ、参加者の中にはできることで活動に協力する方が出てきた。また行政との連携のきっかけを作ることができた。

3月12日(土)13:30~16:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加費 500円(資料代)

話題提供 びわ湖ハッピーにゃんずプロジェクト(※)
滋賀県動物保護管理センター
高島市ニャンコの未来

参加者 15名

参加者感想

- 高島市も保護猫活動の取り組みの情報交換ができてよかったと思う
- 活動について知ることができ、とてもよかった。話にあったように、活動団体+環境部局+福祉部局の意見交換の場があればと思います。
- 高島市ニャンコの未来の活動を知ることができて、大変勉強になりました。「市内の問題」「これからの対策」について、きちんと分析、整理されているので、これらのことを市民に伝えることができればいいのではと思います。
- 私は猫を飼うことも、ボランティア(人的支援)もできませんが、もし譲渡会の応援団(一口1,000円/年とか)を作られることがあれば応援したいと思います。
- いろいろ相談しながら進めて行きたい。新しい学びが多かった。(TNRのこと、動物保護管理センターの支援体制、補助金のこと、ニャンコの未来のこと)



※びわ湖ハッピーにゃんずプロジェクト

わんにゃんマルシェ(県内で保護猫などの譲渡会を主催)、多賀にゃん(彦根、多賀、長浜でTNR活動実施)、にじのはしスパイククリニック(野良猫の不妊手術専門に行う獣医さん)の3者が連携して活動中

<関連企画>

しあわせ猫の写真展

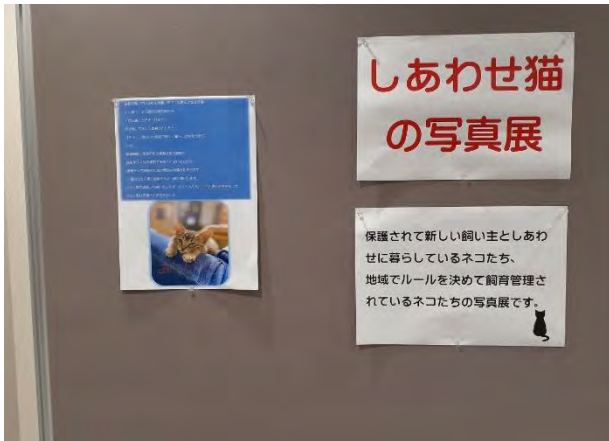
1月17日～2月28日

今津東コミュニティセンター 1階展示スペース

内容

- ・保護猫のエピソードと写真を展示
- ・滋賀県動物保護管理センターの猫の飼い方、地域猫啓発ポスター
- ・新聞記事「野良猫不妊手術専門の診療所」

など



7. 研修等参加記録

<目標>

市民活動センター意見交換会への参加により、中間支援センターとしてのスキルアップを目指す。

業務遂行に有効な研修やセミナーには積極的に参加する。

地域福祉推進計画策定委員会では、地域自治協議会と福祉分野との連携を意識して参加する。

高島市(総合戦略課、社会福祉課等)の会議委員には積極的に対応し、行政の方向性や取り組みの理解と当センターの事業との連携を探る。

<成果>

研修では、中間支援に必要な情報やスキルアップにつながる研修を受講することができた。特に市民活動センター意見交換会は、他市の中間支援センターの取り組みを知り、事業の参考になる内容だった。

外部委員会への参加により、行政や関連機関とつながる機会になり、今後の事業展開に有効であった。

高島市共同募金委員会審査員として、市内の様々なボランティアグループの活動を知ることができた。情報発信など他の事業につなげていきたい。

(1) 研修参加記録

① 市民活動支援センター意見交換会

第1回

9月10日 オンライン

テーマ：中間支援センターや市民団体におけるオンライン化、ネット決済等の活用、コングラント「NPOのための寄付システム」等の紹介

第2回

11月24日 ハッシュタグ大津京

テーマ：まちづくりスポット大津京の紹介
スキルアップワークショップ

第3回

2月16日 オンライン

テーマ：NPOや地域自治組織の支援のためにできること

② 市民活動のための「法人格」研究セミナー

6月4日 オンライン

主催：(社福)大阪ボランティア協会

講師：早瀬 昇氏(大阪ボランティア協会 理事長)

田代 明氏(日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会
関西事業本部 副本部長)

③ 高島市・生涯活躍のまちアドバイザー勉強会

生涯活躍のまちに取り組む県外事例について高島市と当センターが共に学び、高島市における推進について検討する機会を持った。

6月16日 オンライン・市役所

主催：生涯活躍のまち推進協議会

出席：生涯活躍のまち推進協議会

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部
たかしま市民協働交流センター
高島市（総合戦略課、市民協働課、社会福祉課）
生涯活躍のまちアドバイザー 11名

- ④ 課題解決型協働推進セミナー2021
「なぜ今、協働が必要なのか。事例から学ぶ 協働のあり方」
10月8日 オンライン
主催：淡海ネットワークセンター
講師：山元圭太氏(合同会社喜代七 代表)
内容：事例発表
- ・滋賀県農政水産部農業経営課(行政)
 - ・NPO 法人 あめんど(活動団体)
 - ・NPO 法人コミュニティねっとわーく高島(中間支援センター)
- グループワーク他
- ⑤ 市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2022
2月23日、26日、27日 オンライン
主催：日本ボランティア コーディネーター協会
オープニングセッション「越境」から生まれる、みんなでつくる社会」
分科会「若者×社会変革 Z世代のリーダー達に学ぶ」
「わがごとの災害」
「団体の岐路に立ちあう中でのコーディネーターの関わりとは？」
「問いをたてる」ジブンゴトの切実な問いが対話と共創をうむ

(2) 外部委員会等参加記録

- ① 福祉のまちづくり推進委員会
第1回 3月10日 市役所
- ② サステナブル高島ネットワーク会議
7月12日 市役所
10月5日 オンライン
3月11日 第2期高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略関係事業の評価提出
- ③ 高島市地域生活つむぎあい会議
第1回 7月29日 市役所
第2回 1月13日 市役所
- ④ 高島市地域包括ケア推進会議
3月15日 市役所
- ⑤ 高島市共同募金委員会審査会
第1回 6月9日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
第2回 8月2日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
第3回 11月17日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘

Ⅲ. 生活支援コーディネーター（第1層／市域）

<目標>

高島市内の生活支援や介護予防につながるサービスを市民や市民活動団体および事業者が持続的に担う体制を整える目的で、市内の生活支援や介護予防サービスなどの地域資源を集約する。今年度の地域資源集約冊子「たかしまお役立ち情報」は、高齢者の社会参加の増加をめざし、高齢者が集う居場所、サークルやボランティア活動の紹介ページの充実をめざす。

<成果>

「たかしまお役立ち情報」では、コロナ対策で停止していた地域サロンなど通いの場の再開を後押しするために、市社会福祉協議会の出前講座やサロンなどへ出張できるボランティア団体などを掲載した。また活発な高齢者のサークル活動やボランティア活動事例などを掲載した。

事業所交流会はコロナのため中止となったが、市内の事業所が業務のついでに高齢者の困り事を解決する仕組みを「ついでですから事業」として提案し、商工会青年部や電気屋さんに聞き取りを行った。

(1) 高島市生活支援コーディネーター定例会・高島市生活支援体制整備協議体会議

第1層および第2層の生活支援コーディネーターと地域包括支援課で毎月定例会を持ち、高島市の生活支援体制整備協議体の運営と研修や視察内容について検討した。

- 第1回定例会 4月26日(月) 13:30~15:30 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 年間計画について
- 第2回定例会 5月19日(水) 16:00~17:30 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 事業所交流会の中止について
- 第3回定例会 6月23日(火) 13:30~15:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 総合事業について勉強会 定例会の持ち方について
- 第4回定例会 7月6日(火) 13:30~15:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 ケアマネアンケートについて
- 第5回定例会 8月10日(火) 13:30~15:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 年間計画について
- 第6回定例会 9月16日(木) 15:30~17:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 事業所交流会の中止について
- 第7回定例会 10月4日(火) 10:00~11:30 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 商工会のチラシ
- 第8回定例会 11月11日(木) 15:30~17:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 お役立ち情報商工会アンケートについて
- 第9回定例会 12月9日(木) 13:30~15:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 通いの場の再開について

- 第10回定例会 1月17日(月) 13:30~15:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 ついでですから事業 電気屋さんへの聞き取り
- 第11回定例会 2月8日(火) 13:30~15:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 お役立ち情報について
- 第12回定例会 3月29日(火) 13:30~15:00 高島市社会福祉協議会
第1層、第2層の活動報告 来年度へ向けて定例会の持ち方、事業の目的について

- 第1回生活支援体制整備協議体会議 10月14(木) 13:30-15:00 新旭公民館
コロナ禍での通いの場への参加をうながすためにできる事
- 第2回生活支援体制整備協議体会議 2月14日(月) 13:30-15:30 新旭公民館
第1層、第2層の1年間の活動報告

今津地域 第1回2層生活支援体制整備協議体会議
10月22日(金) 19:00-20:30 今津東コミュニティセンター
今津地域の子ども若者を取り巻く環境

今津地域 第2回2層生活支援体制整備協議体会議
11月24日(水) 19:30-21:00 今津東コミュニティセンター
前回の「子ども若者を取り巻く環境」についてのグループワーク

マキノ地域 第2層生活支援体制整備協議体会議
10月29日(水) 19:00-21:00 マキノ公民館
子どもの居場所作り

安曇川地域 第2層生活支援体制整備協議体会議
11月10日(水) 9:30-12:00 安曇川公民館
コロナ禍でもできる地域活動

(2) 研修参加

〈滋賀県生活支援コーディネーター研修〉

生活支援コーディネーター学習・情報交換会

7月29日(木) 10:00-16:30 Gネットしが 男女共同参画センター

第1層生活支援コーディネーター基礎研修

12月15日(水) 10:00-16:30 オンライン

第2層生活支援コーディネーター基礎研修

1月24日(水) 10:00-16:30 オンライン

生活支援コーディネーター学習情報交換会

2月18日(金) 13:00-16:30 オンライン

<外部研修>

はたらく 社会参加のススメ方 オンラインセミナー

10月26日(火) 13:30~15:30

生活支援コーディネーターカフェ WEBセミナー

12月15日(水) 14:00~16:30

地域共生社会推進全国サミット in かまくらオンライン

11月18日(水) 10:30-16:00

市民参加と協働を進める多様なコーディネーションオンライン

2月23、26、27日 10:30-16:00

<滋賀県我がまち地域包括ケアを考える研修会>

コーディネーター話し合い

6月11日(金) 10:00-12:00 高島市役所

計画について

12月16日(木) 10:00-12:00 高島市役所

オンライン報告会

3月16日(木) 14:00-16:00 高島市役所

<地域包括ケア推進会議>

3月15日(火) 13:30-15:00 高島市役所

(3) 地域資源冊子「たかしまお役立ち情報」の発行

生活のお役立ち情報に加え、高齢になっても社会参加の機会が維持されることを目的に、「みんなの居場所」、「元気高齢者のイキイキ活動」、「ボランティアグループ」のページの情報を集めるため、市内の居場所、主に高齢者の文化やスポーツサークルなどを訪問した。

また地域の通いの場再開に向けて市社会福祉協議会などの出前講座の情報や通いの場などに出張してくれるボランティアグループの情報を掲載した。

生活のお役立ち情報に掲載する新たな事業者の発掘については、高島市商工会から会員への定期発送で、冊子への情報提供についての依頼文を同封していただいた。また、本来の事業とは別に高齢者のための生活のサポートをしている事業所の聞き取りについても掲載した。



発行部数 1,500部

配布先 市地域包括支援課から関係機関へ

掲載事業者、掲載の居場所グループやサークルなど必要とされる市民

<お役立ち情報の活用に関するケアマネジャーへのアンケート>

たかしまお役立ち情報の活用について、ケアマネ協へアンケート調査を行った。

実施日 7月30日

対象者 高島市内のケアマネジャー 55人

回答数 33件

結果

約8割の方が活用していると回答。主に利用者家族に情報提供をするために、必要なページをコピーして配布しているとの回答者が多かった。

(4)「ついでですから」と高齢者の生活支援を行う事業者への聞き取り

<内容>

高齢化が進む中、高齢者の独居世帯や高齢者夫婦の世帯が増えている。在宅生活を支える公的なサービス以外にも住民同士の支え合いなどのサポートが必要とされている。生活支援体制整備事業では地域資源を活かし、高齢者の生活支援・介護予防サービスの構築のためのコーディネートを行っている。

市内で建築や造園などの外仕事をする様々な事業所が、仕事場やその近隣の高齢者宅で、10分程度で終わるような力仕事（ゴミ捨て、重いものの移動、大きな家具の移動や廃棄、電球交換など）に対応しているケースがある。生活支援を本業とは関係なく、“ついでですから”と頼まれ対応している現状と本業以外に「ついでですから」と小さな生活支援を行う仕組みについて聞き取りを行った。

聞き取りをとおして、市内の事業所が高齢化社会における役割りを認識し、役割りを担うことができる仕組みを検討していきたい。

<聞き取り件数>

電器屋さん 2名

建設業 4名

その他 3名

商工会青年部へのアンケート 11名

町の電器屋さんへ聞き取り

- ・電器屋はそもそもついでだらけ。
- ・エアコンの取り付けのついでに扉を直してほしいと言われて直す事もある。
- ・今年初めてストーブをつけるので怖いから来てほしいなど
- ・ついで仕事の料金はいつも悩む。しかしただでは商売にならない。
- ・ボランティア団体ならいいが、ボランティアと商売を一緒に考えるのは難しい。
- ・元々町の電器屋というのは地域の御用聞き、なんでも屋のような存在であったが、量販店に押されて以前は市内に40店以上あった電器屋さんは現在9店。顔が見える関係性をもう一度作っていく。困り事の総合窓口のようになりたいという思いがある。

- ・高島市に電気工事工業組合という組織があるが、一人暮らしの高齢者宅の漏電検査を無料でしている。
- ・電線のクズを障がい者施設に渡して、剥がす作業をしてもらい現金化している。

建設業へ聞き取り

- ・従業員を動いてもらうには理由がある。会社のメリットにならないと動かせない。
- ・県事業への入札には点数制度というものがあり、その点数によって会社が評価されている。建設業者が行うボランティアでの学校グラント整備や防災訓練への参加は点数制度に反映されている。点数制度にこの事業が入っていれば取り組みやすい。
- ・40代はとても忙しい。手が回らないが、自分たち60代なら動きやすいと思う

商工会青年部へアンケート

Q ついでですからについてどう思いますか？

- ・青年部が無料の便利屋と間違われぬか心配。無料が悪い訳ではないが、それで他人の仕事を奪わないか。
- ・少しでも地域貢献ができるなら。
- ・地域と繋がりができる
- ・困っている人を助ける精神
- ・具体的な方法が見えない
- ・今後高齢化と過疎化が一層懸念される為
- ・近年、助け合いの気持ちが薄れていると感じる。また核家族化、高齢化により、助けを欲している人が沢山いると感じるから。
- ・助け合いとしては良い案だなと
- ・市からの補助や、事業費がもらえるのか ボランティアでも多少のお金は必要です。
- ・事故やクレームなどの恐れから、業務中に出来る事は限定される。話し相手がせいぜい。
- ・登録する事業所に何か付加価値があれば実現する事業だと思います。
- ・すべてボランティアでするには限界がある。何か企業にもメリットがないと協力は得られにくいと感じる。
- ・リスクヘッジとメリットデメリットが必要
- ・青年部として協力できる事はしたいと考えています。共に協力し合い、高島市を住みやすく、魅力のある良い街にしていきたいと思います！

Q心配する事はなんですか？

- ・怪我、対象案件での紛失、損害に対する保険の有無
- ・事故やクレーム
- ・トラブルがあったときの責任の所在
- ・実務(現場での作業)が時間内に施工しなければならないので、取り組む事ができるかどうか
- ・仕事への影響。繁忙期には対処しづらい。

- 店舗型の事業であり対応は難しいと思う。

Q現在、仕事中に事業の範囲を越えて高齢者の暮らしを支えるような事例はありますか？

- 近所の高齢者の除雪（コンボで）。
- 近くのお年寄りの除雪。
- 見かけたら挨拶をする
- 家具の移動
- 時間の許す限り、話し相手になる
- 事業所の近所の高齢者の手伝い
- 車での移動が多いので時間が合えば目的地まで同乗が可能
- 徘徊老人が来ると警察に連絡

Ⅳ. たかしまの森へ行こう！～森と人がつながるプロジェクト～

<目標>

市民が森林に意識を向け、森林に関わる機会を作る目的で2015年より事業を行ってきた。2018年からは、森林の持続的な活用と保全につながる炭焼きが高齢化とともに衰退する中、炭焼きに関する技術継承と市内炭焼きグループのつながりづくりをめざして事業を展開してきた。主に NPO 法人麻生里山センターが管理運営する森林公園くつきの森（以下、くつきの森）をフィールドに、炭窯の復活、炭焼き体験、炭原木の森づくり、森林の理解を深める森林調査を同法人と連携して実施してきた。

2021年は、炭焼き体験をとおして、炭焼きに関心を持つ市民を増やすこと、また炭原木の森づくりとして植樹体験を幅広い年齢層の参加者とともに実施して関心層を広げること、炭焼き交流会で市内外の炭焼きグループのネットワークづくりを目指した。

<成果>

コロナ感染症対策のため、募集人数を制限し、事業を行うことができた。

(1)炭焼き体験

炭焼きに関心を持つ市民とともに「炭焼き体験会」を開催。炭窯を管理する麻生里山センターにとって2回目の炭焼きとなり、経験とデータの蓄積ができた。長年炭焼きを行う「国境炭焼きオヤジの会」から指導を仰ぎながら実施し、地域を越えて技術継承の可能性が見えた。

(2)炭原木の植樹体験会

少人数ではあったが、くつきの森で育苗されたクヌギの苗木の植樹とドングリのポットへの種まき作業を実施した。今後の苗の管理はくつきの森で行われるが、年に1回程度は、参加者が植樹した森に関わる機会を作り、森への関心を持続することが重要と考える。

(3)炭焼き交流会

市外の炭焼きグループの視察をとおして、炭焼きに関心を持つ市民と市内の炭焼きグループ2か所からの参加者の学びと交流の機会を持つことができた。米原市の山間地の炭焼きや炭窯づくりの技術を学ぶことができた。

<事業への助成について>

平和堂財団「夏原グラント 一般助成」から助成を受けて事業を実施することができた。ただし、一年を通じてコロナ禍の影響を受け、参加人数の制限、イベント内容の簡略化など、当初の計画内容を縮小して実施せざるを得ず、助成金を十分に活用することができなかった。(当初助成額¥130,000 実績額¥74,344 差額は返還)

<運営協力組織>

NPO法人麻生里山センター/巨木と水源の郷をまもる会/くつき木の駅プロジェクト/たかしま森林セラピー/結いの里・椋川/滋賀県琵琶湖環境科学研究所/総合地球環境学研究所/高島市森林水産課

(1) 炭窯復活事業「くつきの森 炭がま復活プロジェクト」

本事業は、かつての朽木地域の主要産業であり、森林を持続的に利用する木炭生産に不可欠な「炭がま」を、くつきの森で地域内外の市民とともに蘇らせ、森林の持続的な活用と地域の活性化のきっかけとなることを期待して企画した。また、地元につながる炭がまの建築手法の確認と継承への貢献も視野に入れている。

3年目となる今年度は、昨年に完成した炭窯を活用し、炭焼きの経験とデータの蓄積をめざした。作業は、炭の原木の入手、炭窯への搬入、炭焼き中の燃焼状況管理など、昨年度の作業でうまく行かなかった点を検証し、対策を施した手順を策定して作業を実施した。

炭の原木の入手については、くつきの森が高島市森林組合に依頼した森林整備作業の過程で抛出される広葉樹材の活用を想定していたが、梅雨時から夏季にかけて山面の状況が悪化したこと等により作業スケジュールが遅延。また、8月から9月にかけては新型コロナウイルス感染症の感染状況拡大による緊急事態宣言の発出もあって資材の調達が遅れ、炭焼き作業は秋季の1回となった。

(1)「炭焼き体験会」

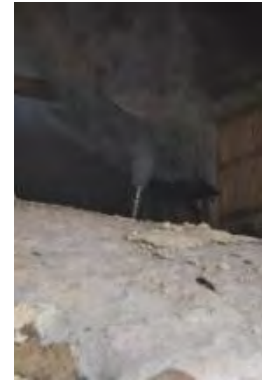
【炭焼き体験会 スケジュール】

実施日	参加人数(延べ参加人数)	作業内容
10/30(土)	11名	炭窯への原木搬入、着火、燃焼管理など
10/31(日)	13名	燃焼管理、修復作業、昔の炭窯跡散策など
11/21(日)	11名	炭出し、チェック、袋詰めなど

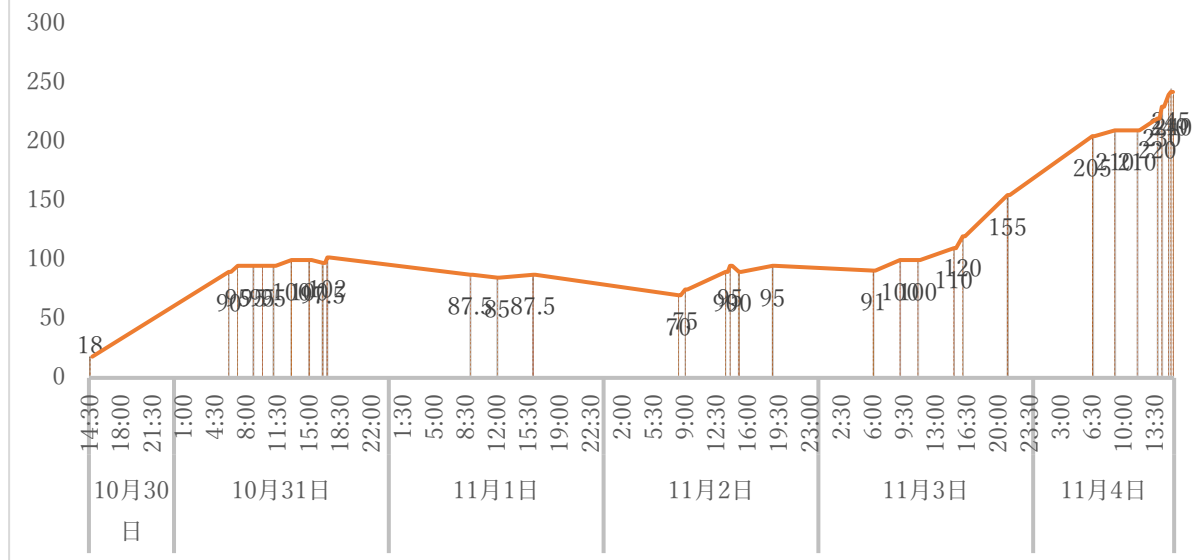
炭焼き作業に関しては、10月30日(土)、31日(日)の二日間にわたり開催した。炭原木は、くつきの森のスタッフが炭窯の容量を計算し、あらかじめ必要量を確保し、原木を炭窯に入る長さに切りそろえるなどの準備を行った。また、作業当日は、マキノ町「国境炭焼きオヤジの会」北谷三郎氏に依頼し、当日の作業手順、温度管理など工程全般にわたりアドバイスを受けながら作業を行った。事前準備により10月30日の作業はほぼ順調に完了した。31日は炭窯の燃焼管理作業と修復作業を行った

炭焼き中の温度管理、燃焼状況の管理についても、くつきの森スタッフが北谷氏の協力のもと、きめ細かく炭窯の状況を管理した。





2021年10月30日～ 炭焼き 炭窯温度推移



(温度は、森林公園くつきの森スタッフが温度計で計測し、たかしま市民協働交流センター木下がグラフ化)

炭出し作業は 11 月 21 日(日)に実施した。今回は、実用に耐え得る品質と形状の炭を炭窯から取り出すことができたが、立ち会っていただいた北谷氏によると、炭ではあるが、販売ができる品質ではないという評価だった。品質の向上のためには、炭窯の構造を抜本的に見直すべきという指摘と、燃焼時の温度管理など見直すべき点についてアドバイスをいただいた。



今後の炭焼き体験に関しては、くつきの森の事業として継続される。今回得られた知見と経験をもとに炭焼き技術の維持と継承を目的に事業を展開される。当プロジェクトは引き続き情報発信や記録、当日作業などの面でサポートを継続していく。



← 2021年12月8日
京都新聞朝刊 滋賀版に掲載



(2) 炭原木の植樹体験会(「くつきの森に どんぐり山をつくろう!」)

炭焼き文化の継承には、炭焼き作業そのものの技術継承のほかに、炭の原木の確保とその維持も重要である。高島市域で主に炭の原木として用いられてきたクヌギやナラは萌芽更新により成長を継続する樹種であり、これらを適切に人間が管理することで森林資源の持続的活用、すなわち里山環境の維持が可能になる。



今年度は、炭の原木に用いるクヌギ林の再生を通じて、広葉樹を含む多様な樹種から形成される持続可能な森林づくりをめざすイベント「くつきの森にどんぐり山をつくろう!」を開催した。当イベントでは、クヌギの苗木の植樹と、牛乳パックで作ったポットへの種まき作業を実施した。参加者は4名と少なかったが、植樹と種まき作業の進め方につ



いて、今後に向けての実績を蓄積することができた。当イベントに関しても、今後はくつきの森で継続される。当プロジェクトも引き続き情報発信や記録、当日作業などの面でサポートを継続していく。



作業実績

植樹 10本

種まき 約100個



(3)「炭焼き交流会」

当事業では炭焼きに関心を持つ市民と市内の炭焼きグループとの意見交換を目的としている。今年度は炭焼きグループの連携の広域化を図ることを目的に、3/15(火)に高島市外の炭焼き

グループ(米原市・東草野炭焼き保存会 代表: のりくも しゅんゆう 法雲 俊 邑 氏)

を訪問する形式で開催した。



参加者は計 7 名。市民、高島市内の炭焼きグループ「くつきの森」「国境炭焼きオヤジの会」が参加した。

積雪のため炭窯の見学はかなわなかったものの、各グループの取り組みについて紹介し、その背景となった地域の高齢化や人口減少とその対策などについて活発な意見交換がなされた。炭窯を作るのにあたって、炭焼きの頻度が少なくても炭窯の強度維持が期待できる耐火レンガを活用する等、今後の炭焼き文化の継承に役立つ技術的情報も得ることができた。参加者からは次年度には炭焼き作業の見学もしたいという声もあり、次年度以降も交流が継続できればと考える。

市内(外も含めた)各地の炭焼きグループ間で連携を深めていく枠組みとして、市民が炭や炭焼きに関心を持ち、後世への技術継承につながるきっかけづくりの場として、この「炭焼き交流会」の枠組みは今後も継続していきたい。



(2) 情報発信

(1) Web サイトのリニューアル

Web サイトは、Jimdo の有償サイト(年間管理費¥13,000 程度)を利用していたが、下記のような課題があったため、6 月に閉鎖し、リニューアル作業を行い、10 月に公開した。

- 課題：
- これまで蓄積してきた情報量が多くなり、見にくくなってきた
 - スマートフォンからの閲覧が快適でない
 - サイトイメージのバックアップ取得手段が提供されていない



新しい Web サイトは、旧サイトの構成分析、移行対象データ、リンク情報の選択、新サイトのコンセプト・デザイン検討、新企画の立案、移行作業と調整などを行い、ページ作成、データ移行と表示テストを繰り返し、2021 年 10 月に公開した。

新サイトは「たかしまの森の地図」をコンセプトとして、イベント情報、これまでの活動が時系列で閲覧できるようにした。

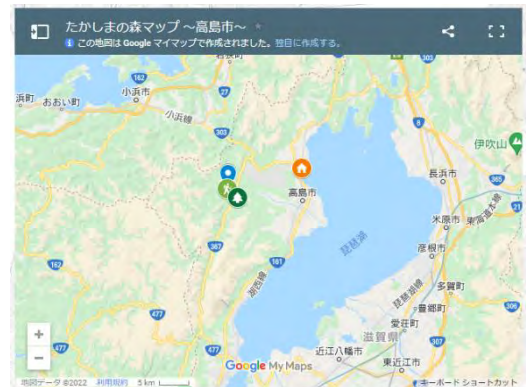
「リンク集」は Google Map を利用し、リンク先を地図表示からアクセスできるようにした。

新企画「もり人を訪ねて」では市内で森林にかかわる方々へのインタビュー記事を掲載していく。

ライブラリーとしてチラシのイメージ、たかしまの森の画像を公開していく。

引き続き協力団体の情報なども加えながら、徐々にコンテンツを増やし、市民にたかしまの森への

「ポータル(玄関)サイト」として位置付けられることを目指していく。



(3) 運営会議の実施

月日	回	参加者	議題
4/12*	第1回	4	①今年度の事業について確認 ②Web サイト リニューアルについて
5/14	第2回	6	①Web サイト リニューアルについて ②活動内容の常設展示の検討 ③今年度の事業について検討
6/18	第3回	5	[森林公園くつきの森で開催] ①炭の原木作り体験(クヌギ植樹) 作業現場見学会 ②今年度の事業について ③Web サイト リニューアルについて
7/16	第4回	5	①新 Web サイト 構築作業について ②今年度の事業について確認 イベント日程の決定
10/6*	第5回	5	①炭焼き体験会について ②炭の原木作り体験会について ③新 Web サイトについて
12/15*	第6回	5	①炭焼き体験会について総括) ②炭の原木作り体験会について総括 ③炭焼き体験会について ④新 Web サイト (完成報告)

運営会議は主に今津東コミュニティセンターで開催したが、第3回は炭の原木づくり体験会の会場見学を兼ねくつきの森で開催した。会議は Zoom 会議も併用しながら開催した。今後もメンバー間のコミュニケーションが円滑かつ柔軟に行われるようにつとめたい。

令和3年度 今津東コミュニティセンター施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月	3月	合計	
和室1	団体数	18	15	14	20	11	0	16	16	11	8	11	9	149	
	人数	167	119	134	215	80	0	206	260	130	89	107	138	1645	
和室2	団体数	15	16	19	18	11	0	14	21	22	9	14	19	178	
	人数	150	129	157	193	72	0	201	275	175	101	105	182	1740	
調理実習室	団体数	3	4	7	6	3	0	2	2	5	5	2	7	46	
	人数	48	64	83	96	36	0	29	41	69	60	14	116	656	
中会議室	団体数	20	24	18	22	17	0	34	29	14	15	25	21	239	
	人数	266	194	165	205	116	0	329	372	143	112	253	182	2337	
小会議室1	団体数	26	32	37	38	25	0	27	39	25	29	26	32	336	
	人数	120	132	166	146	94	0	179	247	89	101	104	112	1490	
小会議室2	団体数	40	26	33	38	26	0	40	30	27	17	27	39	343	
	人数	196	108	137	164	99	0	213	220	118	100	111	129	1595	
大ホール	団体数	14	17	19	13	13	0	25	30	23	12	15	30	211	
	人数	162	187	370	298	202	0	472	572	564	233	383	609	4052	
1F展示・ロビー	人数	520	512	589	518	351	0	605	782	394	234	470	588	5563	
合計	団体数	136	134	147	155	106	0	158	167	127	95	120	157	年間合計	1502
	人数	1629	1445	1801	1835	1050	0	2234	2769	1682	1030	1547	2056		19078

※利用拒否件数 0件

2. ロビー展示他

(1) ロビー展示利用促進

年2回、展示希望団体の募集を行い、展示ホールをさまざまな団体の展示で活用し、展示団体と来場者の交流を促進した。

- ①デジタルカメラ勉強会 作品発表会 (3/26~4/11)
- ②結の里椋川 おっきん椋川展 (4/14~4/30)
- ③今津押花クラブ 作品展 (5/1~5/31)
- ④湖西水墨画会 作品展 (6/1~6/6)
- ⑤水彩画サークル彩琶 風景画展 (6/16~6/30)
- ⑥はびねすマキノ 作品展 (7/1~7/15)
- ⑦原水協高島支部 原爆パネル展 (8/6~8/16)
- ⑧MOA 美術館 高島児童作品展 (10/11~10/17)
- ⑨高島市びわこ水源の森活用委員会 活動紹介 (10/19~10/31)
- ⑩街中美化運動はなのみち 活動紹介 (11/1~11/13)
- ⑪虹の写真展~心に虹の架け橋を~ (11/14~11/27)
- ⑫デジタルカメラ勉強会 作品発表会 (12/1~12/14)
- ⑬地域猫活動紹介 (1/17~2/17)
- ⑭湖西フォトクラブ 写真展 (2/19~2/27)
- ⑮あけぼの墨絵クラブ 墨絵展 (3/1~3/10)
- ⑯更生保護女性会 川柳展 (3/13~3/28)
- ⑰湖西蘭友会 春蘭展示会 (3/12~3/13)
- ⑱滋賀美育懇話会 会員作品展 (3/25~3/30)



虹の写真展~心に虹の架け橋を~



デジタルカメラ勉強会 作品発表会



保護猫・地域猫活動紹介「しあわせ猫の写真展」 春蘭展

(2) 情報発信について

①HP および SNS による情報発信

インターネット上での情報発信として、HP で事業の開催情報と結果報告、貸館予約状況を掲載した。同時にフェイスブック、ツイッターページでHP の記事をシェアした。

②今津東コミセンだより（毎月：12回発行）

今津東コミセンおよび、たかしま市民協働交流センターからのお知らせや自主事業の広報、館内の催し物、ロビー展示会情報、利用団体紹介等を壁新聞形式で各部屋に掲示した。また市内公共施設にも送付した。

③電子掲示板（2021年10月～2022年3月）

今津東コミセンの利用状況について、Wi-Fi とグーグル・クロームキャストを使用した電子掲示板システムを構築し、スライドショー形式で下記の情報をテレビに表示させた。

- ・各室ごとのイベント名・団体名・開始時間
- ・一階ロビー展示の紹介
- ・たかしま市民協働交流センターのイベント情報



3. 自主事業報告

事業名	日程	参加者	内容
認知症サポーター養成講座	4/17	19	認知症の特性や種類、認知症の人への接し方など基本的なことについて学ぶ機会を提供した。
郷土料理教室	7/31 1/16	20 12	「鮒ずし漬け体験」・「鮒ずし味見会」 滋賀の代表的な郷土料理をとおして、琵琶湖の現状や湖魚について学ぶとともに鮒ずしの試食の場を設け、楽しさや美味しさを語り、交流を図った。
	3/21	15	「でっち羊羹づくり」 滋賀の食文化財の一つであるなつかしい味のでっち羊羹の作り方を学んだ。
文化と世代をつなぐ聞き書き講座	11/27 12/4	9 10	消えつつある地域に受け継がれてきた祭事や行事、風習などを残す「聞き書き」のおもしろさと手法について学ぶ機会を提供することにより、地域の世代間交流を促すことを目的に開催した。
広域避難所運営会議	11/24	23	災害時における広域避難所運営について、市防災課や災害ボランティア活動連絡協議会のサポートを受けながら、中浜、北浜区民の方々と意識や課題の共有を図った。
シニアのための初めてのスマートフォン講座	10/4	12	60歳以上の方を対象に、NPO法人湖南ネットしがの講師から、スマートフォンの基本的な操作やマップ、ラインなどの使い方について学ぶ機会を提供した。
シニアのための簡単スマホ相談会	4/7 4/19 6/21 8/23 11/15 12/13 2/21	4 5 4 5 3 1 4	60歳以上を対象にスマホの使い方で困っていることや知りたいことなどについて、気軽に相談に応じる機会を設けた。

みんなの本棚事業	4月～ 3月	-	東コミセン 1 階談話室の利用促進を目的に、みんなでシェアする本の物々交換所「みんなの本棚 東コミセン」を設置し、本による市民の交流の機会を提供した。
----------	-----------	---	---



認知症サポーター養成講座



広域避難所運営会議



郷土料理教室（鮎ずし漬け体験）



郷土料理教室（でっち羊羹づくり）



シニアのための初めてのスマホ講座



文化と世代をつなぐ聞き書き講座